

令和4年度 事業計画

第Ⅰ 基本方針

総務省の統計(令和3年度9月15日現在)によると、我が国の高齢人口は、3,640万人となり総人口に占める割合は29.1%と過去最高を記録した。

一方高齢者の就業者数は17年連続で増加し、その就業率は25.1%と9年連続で上昇しております。また、就業についての主な理由は、男女とも「自分の都合のよい時間に働きたいから」が最多となっております。

この様な中、一昨年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大という状況の中で我が国の雇用情勢をはじめ社会経済活動は多大な影響を受け、シルバー人材センター事業にも影響を及ぼしております。引き続き新型コロナウイルス感染症禍の状況を注視しつつシルバー人材センター事業を展開してまいります。

令和4年度政府経済見通しによれば、経済の水準が新型コロナウイルス感染拡大前の水準を超えることが見込まれるとしております。人生100年時代を見据えて地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいや居場所づくりに大事な役割を担っており地域の状況を見ながら積極的な取り組みを強化し組織としてその存在価値を高める努力をしております。

また、独自事業としての「田んぼっ湖カフェ」も地域の皆様に支えられ、5年目に入りより一層地域に貢献しシルバー人材センター事業の情報発信基地としての役割を果たしてまいります。

「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、シルバー人材センターが広く認知され信頼し続ける事を目指し、会員一人一人が輝き地域社会発展の下支えにも寄与し、生きがい対策・健康対策を目的として、役職員一丸となり目標に向かって次の事業を推進してまいります。

第Ⅱ 数値目標

シルバー事業運営における位置づけて、中期5ヶ年計画のもと数値目標を設定し、次の目標に向かい事業運営に努めてまいります。

・会員数	850名
・受注件数	2, 520件
・契約金額(派遣合算)	410, 000千円

第Ⅲ 事業計画

1. 会員確保・拡大と組織の充実

- ① 会員組織の拡大
- ② 会員組織の活性化
- ③ 会員の資質向上
- ④ 会員の登録情報の見直し(緊急連絡先、希望職種等)

2. 安全・適正就業への取り組み強化

- ① 安全就業の推進および取り組み
- ② 適性就業への取り組み

3. 多様な就業機会の確保

- ① 既存の就業先での新たな職種の開拓
- ② 会員の生活様式に対応した就業先の確保(勤務時間、就業内容等)
- ③ 様々なニーズに対応した就業先の確保

4. デジタル技術の活用

- ① ホームページの充実
- ② WEB 入会
- ③ 講習会の実施

5. 経営基盤の安定

- ① 健全な財政の確保
- ② 事務局体制の強化
- ③ センター組織(地域班、職群班)の充実

第Ⅳ 各委員会の取り組み

中期5ヶ年計画のもと各委員会がそれぞれ委員長・副委員長を中心に一年毎の活動内容を精査し、シルバー人材センターの向上に努めてまいります。

1. 安全・適正就業委員会としては、次の施策を計画目標とする。

- (1) 事故発生時における、事故分析と発注者との防止対策会議を開催する。
- (2) 安全大会・安全講習会の開催(新型コロナウイルス感染防止対策を行い)をする。
- (3) 安全・適正就業委員会による安全パトロールを実施する。(年3回)
- (4) 職群班長、リーダーの元、朝礼、終礼時に安全チェックを行い、作業チェックリストの提出を実施する。
- (5) 安全メールを定期発信し、安全就業の啓発を実施する。
- (6) 自動車運転業務従事者に対する、運転適性検査の義務化を推進する。
- (7) 剪定、除草業務等屋外作業の安全管理について職群班長会議を実施する。
- (8) 定期的に業務契約書の内容等を精査する。
- (9) 「施設管理等就業基準」により、会員間の公平な就業機会の確保を図る。

2. 普及啓発委員会としては、次の施策を計画目標といたします。

- (1) 関係機関への入会チラシの設置を推進する。
- (2) 入会説明会の定期開催と内容の充実を図る。
- (3) 全会員による「ひとり一会員紹介運動」の推進を図る。
- (4) 各種団体等の会合、各地域イベントへの参加による広報活動を図る。
- (5) 一般市民を対象とした各種講習会、イベントの開催による広報活動を図る。
- (6) ホームページ、ポスター、広報誌、ZTV 等地元メディアによる広報活動を図る。
- (7) 独自事業「田んぼっ湖カフェ」、イベントルームでの広報活動を図る。
- (8) 女性会員拡大イベントの実施を図る。
- (9) 会員の福祉の充実策として、フレンドリーショップの協力店拡大を図る。
- (10) プラチナ会員の充実を推進する。

3. 事業開拓委員会としては、次の施策を計画目標といたします。

- (1) 委員長・副委員長による定期的な企業訪問を実施し、就業拡大を図る。
- (2) 各種団体等との情報交換を密にし、公共事業の受注拡大を図る。
- (3) 独自事業「田んぼっ湖カフェ」の充実を図り就業機会拡大に繋る。
- (4) 「事務系作業等の会員の就業確保」の課題を各種団体と共有し積極的な取り組みを推進する。
- (5) 空き家管理サービス事業への企画提案を図る。
- (6) 会員のスキルアップ講習会の開催を推進する。

- (7) 会員各位の経験財を活用した就業拡大を図る。
- (8) 未就業会員への就業相談・案内を推進する。

4. 福祉家事援助サービス推進委員会としては、次の施策を計画目標といたします。

- (1) 高齢者への支援活動の充実を図る。
- (2) 会員の資質の向上のための講習会実施を推進する。
- (3) 一般市民向けのイベントなどを通じての普及啓発活動を推進する。
- (4) サークル活動の推進を図る。
- (5) ボランティア活動を推進する。
- (6) 各種団体の福祉関係者と連携しサービス向上を図る。
- (7) 田んぼっ湖カフェを通じて会員増加の推進を図る。

5. 総務委員会としては、次の施策を計画目標といたします。

- (1) 自主自立した財政基盤づくりの検討を行う。
- (2) 事務局職員の資質の向上を図る。
- (3) 事務機能の点検と効率化促進、経費節減を行う。
- (4) 会員の能力、経験財を活用し事務局体制の強化を図る。
- (5) 地域班の機能充実を図り、会員間の連携を強化する。
- (6) 職群班の組織機能充実と後継者育成の研修を実施する。